

「震度6弱」

1) 雑談の中で、こんな意見が出された。

今回の能登半島地震で、長岡が震度6弱とNHKで放送されたら、他県の友人から「大丈夫か?」と連絡が多くきた。確かに、6弱となればかなりの強度。ところが、後から口コミで「あれは、中之島の震度計で、長岡の街中は4程度だった」などと聞こえてくる。NHKのニュースを聞けば、「長岡では」と伝えられれば、全国の方は長岡の街中を意識する。長岡といって、中之島をイメージする人は少ないと思う。「長岡では震度〇」とNHKのニュースで流された時に長岡市役所周辺または長岡駅周辺の震度が報告されるべきではないかと考えるが、これはどういうことなのかと意見が出た。

2) 気象庁

すると、あの震度報告は気象庁の管轄で、気象庁が発表したことをNHKがニュースとして流している。気象庁としては、一番強い震度を公表したがるだろうから、しょうがないことなのだ、という意見であった。

3) わざわざ

確かに長岡市のHPを確認してみたら、震度6弱が中之島で、長岡市幸町は震度4と表示されていたが、NHKのニュースで震度6弱と公表されたら、長岡の駅周辺は震度6弱だと思うのが普通。わざわざ長岡市のHPを確認して、長岡の街中は震度4だなんて確認する人はほとんどいない。

4) 違和感

何か違和感を感じながらも、最大震度を公表して、注意喚起をしてもらうことが大切だと言われれば、「そういうことになるのか」と思う話だった。だが、なんとなく違和感が残る話だ。

(2024年1月17日長岡経済連携会議報告より)